決算補足説明資料

2027年３月期　第2四半期（中間期）連結決算概要

2026年11月９日

日本リーテック株式会社
（証券コード：1938）

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績サマリー

■業績要旨

- **前年同期比、増収増益決算**
- **中間期における売上高、各利益共に過去最高を更新**

■ 主な要因（対前年同期比）

・受注高は、331億円と**対前年同期比４億円の減少**となった。
国土強靭化やインフラ更新をはじめとした建設投資が底堅く、当社グループにおいても主要顧客を中心に設備投資が堅調に推移している。鉄道電気設備部門では羽田空港アクセス線関連工事の受注がスタートしたほか、屋内外電気設備部門における官公庁等の電気設備改修工事等が寄与したものの、送電線設備部門において前年度に受注した大型プロジェクト工事の反動減などにより対前年同期比で減少となった。

・売上高は、314億円と**対前年同期比28億円の増加**となった。
豊富な繰越工事に加え、今年度も受注が堅調に推移し、各本部とも維持・更新工事や大型プロジェクト工事が順調に進捗・完成したことから対前年同期比で増加となった。屋内外電気設備部門で前年度に最盛期であった品川開発プロジェクト工事の反動減があったものの、東京国際展示場電気設備改修工事や送電線設備部門の地域間連系線増強工事をはじめとする大型工事が進捗したことにより高水準の売上高を計上した。

・営業利益は、26億円と**対前年同期比11億円の増加**となった。
資材価格や人件費を始めとする建設コストの上昇が見られるものの、売上高の増収による利益の押し上げ効果に加え、継続的な価格交渉を通じた採算性の改善、デジタル化の推進や柔軟な要員操配等による生産性向上に取り組んだ結果、対前年同期比で増加となった。

・親会社株主に帰属する中間純利益は、20億円と**対前年同期比10億円の増加**となった。

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

連結損益計算書

（単位：億円）

	2026年3月期 中間実績		2027年3月期 中間実績		増減
受注高	336		331		▲4
売上高	286		**314** 過去最高		＋28
営業利益	14	5.2%	**26** 過去最高	8.3%	＋11
経常利益	17	6.1%	**31** 過去最高	9.9%	＋13
親会社株主に帰属する四半期純利益	10	3.7%	**20** 過去最高	6.6%	＋10

※ 記載されている割合は、利益率を表しております。
※ 各数値は表示単位未満を切り捨てて表示し、比率は単位未満を四捨五入しております。（以降同様）

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

連結貸借対照表

（単位：億円）

	25/09 中間 実績	26/09 中間 実績	増減
流動資産	591	565	▲26
固定資産	399	436	+37
資産合計	991	1,001	+10
流動負債	286	230	▲55
固定負債	68	75	+6
負債合計	355	306	▲48
純資産合計	636	695	+58
負債純資産合計	991	1,001	+10
自己資本比率	64.2%	69.4%	+5.2P

※自己資本比率＝（純資産-非支配株主持分）／総資産

■ 主な要因（対前年同期比）

・流動資産は、現金預金、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことにより、対前年同期比26億円の減少となった。

・固定資産は、東日本道路インフラ支店リニューアル及び中央支店近隣用地等の取得により、対前年同期比37億円の増加となった。

・流動負債は、短期借入金や工事未払金等の減少により、対前年同期比55億円の減少となった。

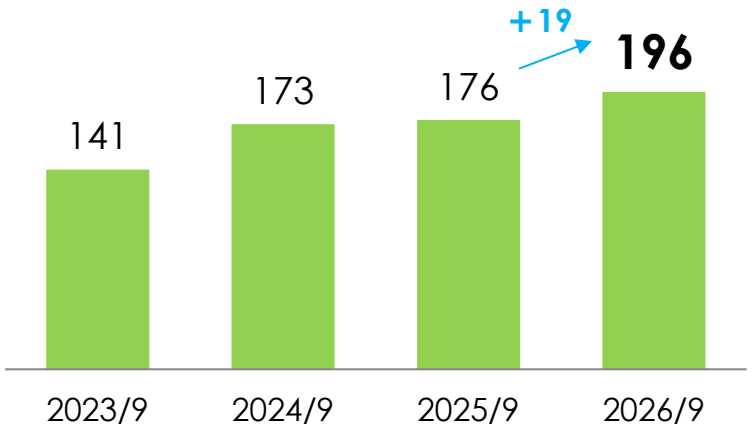
・自己資本比率は、69.4%と対前年同期比5.2P増加した。

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

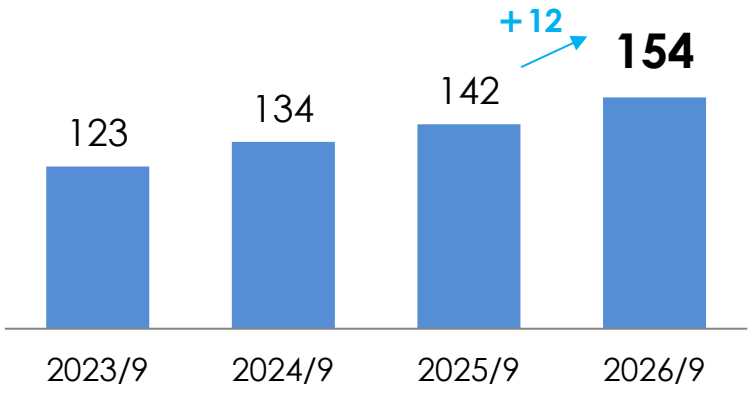
セグメント別

電気設備工事業・鉄道電気設備

■受注高（中間）　（単位：億円）



■売上高（中間）　（単位：億円）

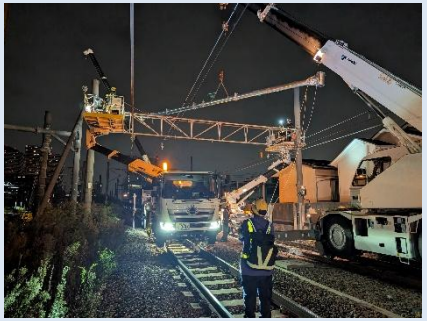


主なポイント

■受注高については、196億円と対前年同期比19億円の増加となった。武蔵境・吉祥寺間地中送電線路保蔵物改良や小山車両センター連動装置取替信号設備改良など、JR東日本の安全投資や維持・更新工事等で受注を確保した。

■売上高については、154億円と対前年同期比12億円の増加となった。新幹線電車線路設備改良や京浜東北線ATACS装置新設など施工が順調に進捗・完成し、売上高の増加に寄与した。

主な施工実績（進捗中案件含む）



武蔵小杉・新川崎間電車線路修繕（神奈川県）



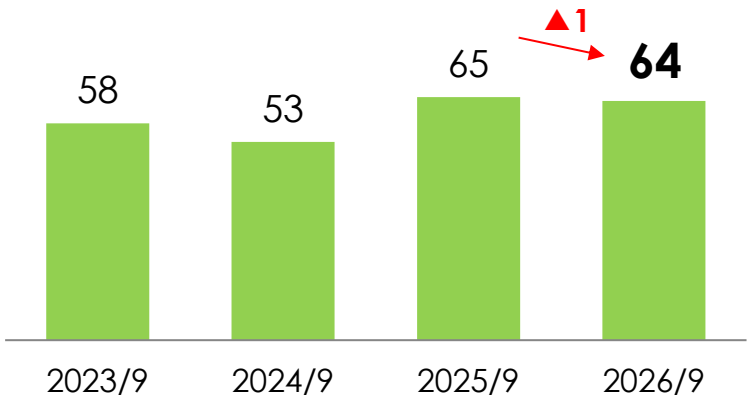
新福島変電所受電用遮断器修繕（福島県）

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

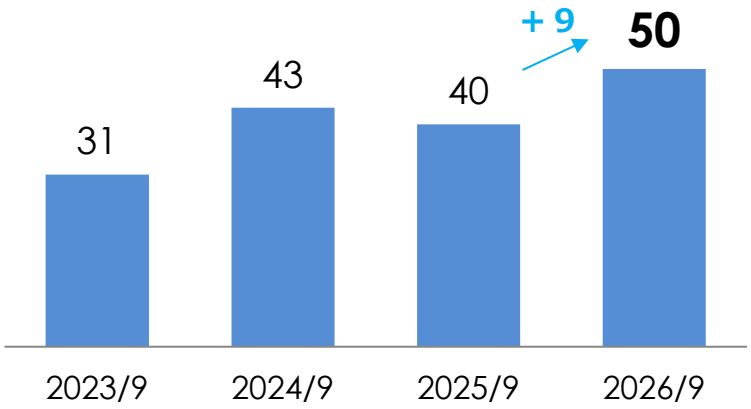
セグメント別

電気設備工事業・道路設備

■受注高（中間）　（単位：億円）



■売上高（中間）　（単位：億円）



主なポイント

■受注高については、64億円と対前年同期比1億円の減少となった。都道府県警察の交通信号機工事や高速道路設備の維持・更新工事等を受注し、同水準を維持した。

■売上高については、 50億円と対前年同期比9億円の増加となった。前期受注した高速道路関連工事を中心に、期首から工事が進捗したことが売上増加に寄与した。

主な施工実績（進捗中案件含む）



東京都23区内交通信号機応急業務（東京都）



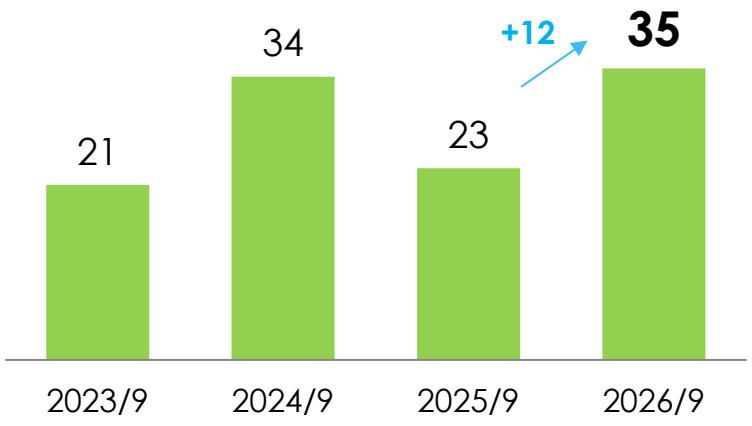
芦屋水巻中間線信号機移設（福岡県）

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

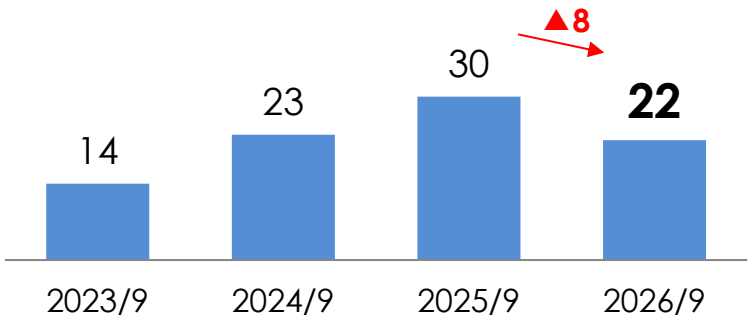
セグメント別

電気設備工事業・屋内外電気設備

■受注高（中間）　（単位：億円）



■売上高（中間）　（単位：億円）



主なポイント

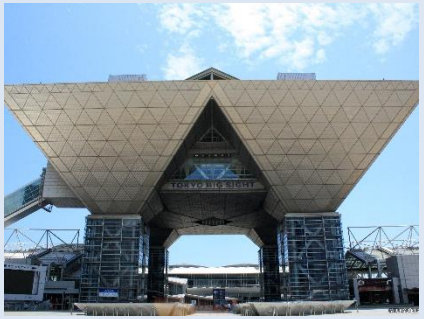
■受注高については、35億円と対前年同期比12億円の増加となった。官公庁や商業施設などを中心に、積極的な受注活動を展開し、受注高が伸長した。

■売上高については、22億円と対前年同期比8億円の減少となった。東京国際展示場電気設備改修工事等の進捗が売上に寄与したが、前年度に最盛期であった品川開発プロジェクト工事の反動により売上高が減少した。

主な施工実績（進捗中案件含む）



渋谷駅国道南側駅舎電気設備新設（東京都）



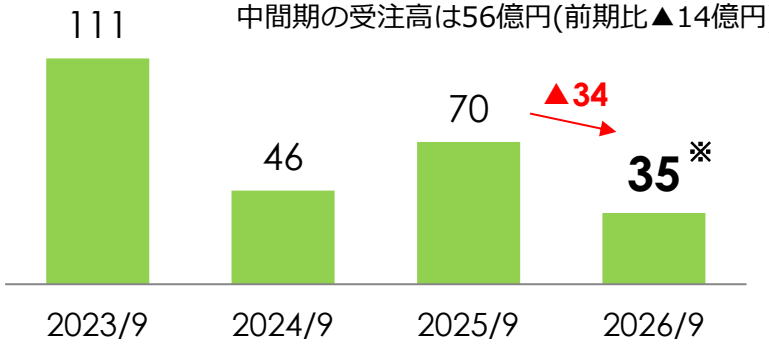
東京国際展示場東展示棟電気設備改修（東京都）

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

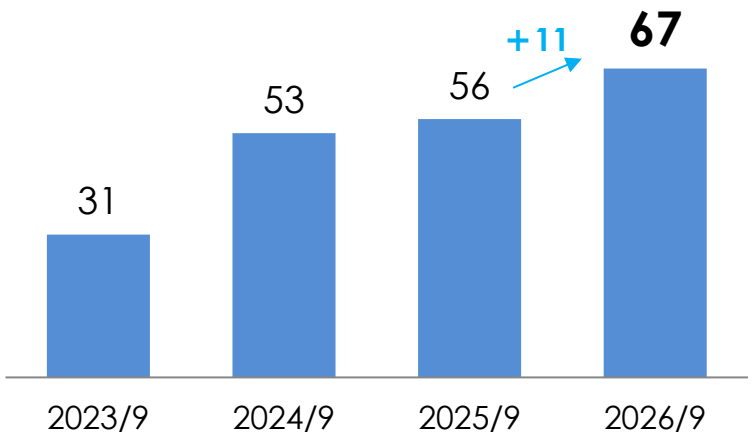
セグメント別
電気設備工事業・送電線設備

■受注高 （中間）　（単位：億円）

※顧客都合による系統用蓄電池工事21億円の受注減を含む。当該工事を除き、当部門中間期の受注高は56億円(前期比▲14億円)



■売上高 （中間）　（単位：億円）



主なポイント

■受注高については、35億円と対前年同期比34億円の減少となった。鉄塔建替工事やデータセンターなど複数の大型工事を受注したが、前期に複数の大型プロジェクト工事を受注した反動により受注高が減少した。

■売上高については、67億円と対前年同期比11億円の増加となった。地域間連系線増強工事が順調に進捗しているほか、各地区における鉄塔建替やリニア新幹線への電力供給工事の進捗が売上に寄与した。

主な施工実績（進捗中案件含む）



黒部幹線鉄塔建替並びに関連除却（長野県）

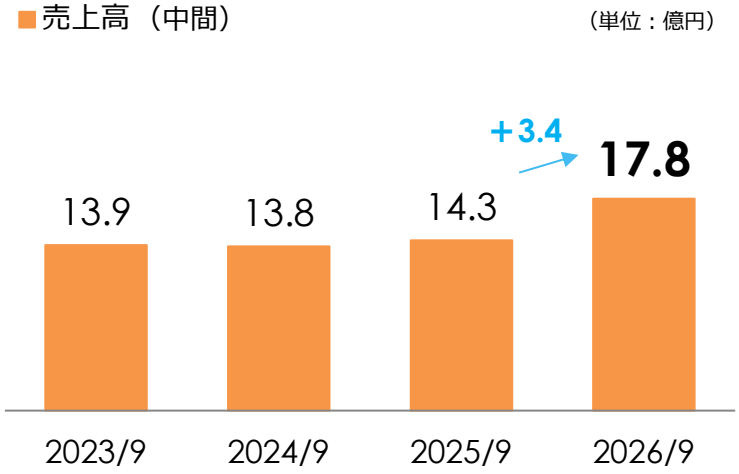


飛騨旧幹線改良並びに関連除却（岐阜県）

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

セグメント別
兼業事業、不動産賃貸事業

兼業事業



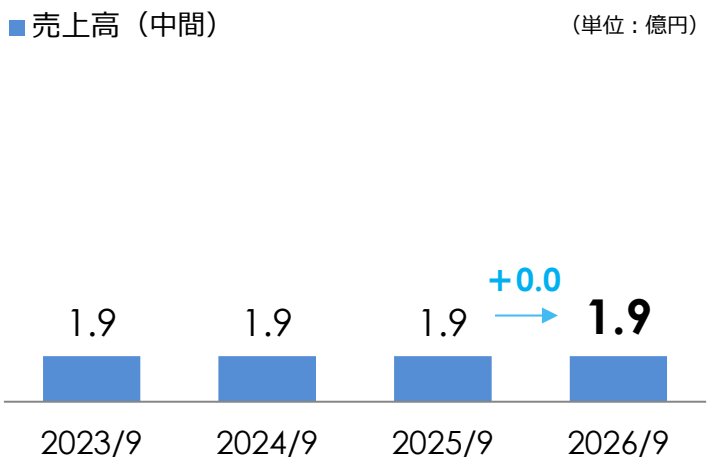
■売上高は17.8億円と対前年同期3.4億円増加となった。

＜兼業事業の内容＞

・交通施設に関する標識及び交通安全用品の製造・販売業務

・建物・関連設備の保守管理業務、機械装置・仮設材関係の保守管理業務

不動産賃貸事業





大崎ブライトタワー
（区分所有）



NRグランディール万代
（個人向け賃貸物件）

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　連結業績予想修正

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績予想修正

・**2027年３月期決算は、“増収・増益”を見込む**

・**期首の予想を上回る見込みとなったため、通期連結業績予想を上方修正**

■ 業績予想要旨

・主要顧客を中心に需要は旺盛であり、各部門とも受注が堅調に推移している。

・前期からの繰越工事を含む豊富な手持ち工事が順調に進捗しており、売上高は期首予想に対し32億円の増加を見込む。

・原材料価格や人件費をはじめとする建設コストの上昇が見られるものの、売上高の増収効果に加え、顧客との継続的な価格協議による採算性の改善に努めてきた成果が寄与する見込みとなったことから、営業利益・経常利益は期首予想に対し6億円の増加を見込む。

・親会社株主に帰属する当期純利益は、期首予想に対し8億円の増加を見込む。

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績予想数値修正

（単位：億円）

	2026年3月期（実績）		2027年3月期 期首予想（2026年5月12日公表）		2027年3月期 修正予想（2026年11月9日公表）		前期比	期首予想比
売上高	740		753		785		+44	+32
営業利益	71	9.6%	73	9.8%	80	10.2%	+8	+6
経常利益	78	10.6%	83	11.1%	90	11.5%	+11	+6
親会社株主に帰属する当期純利益	55	7.5%	61	8.2%	69	8.9%	+14	+8

※ 記載されている割合は、利益率を表しております。
※ 各数値は表示単位未満を切り捨てて表示し、比率は単位未満を四捨五入しております。

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

中期経営計画2027 経営数値目標の見直し

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

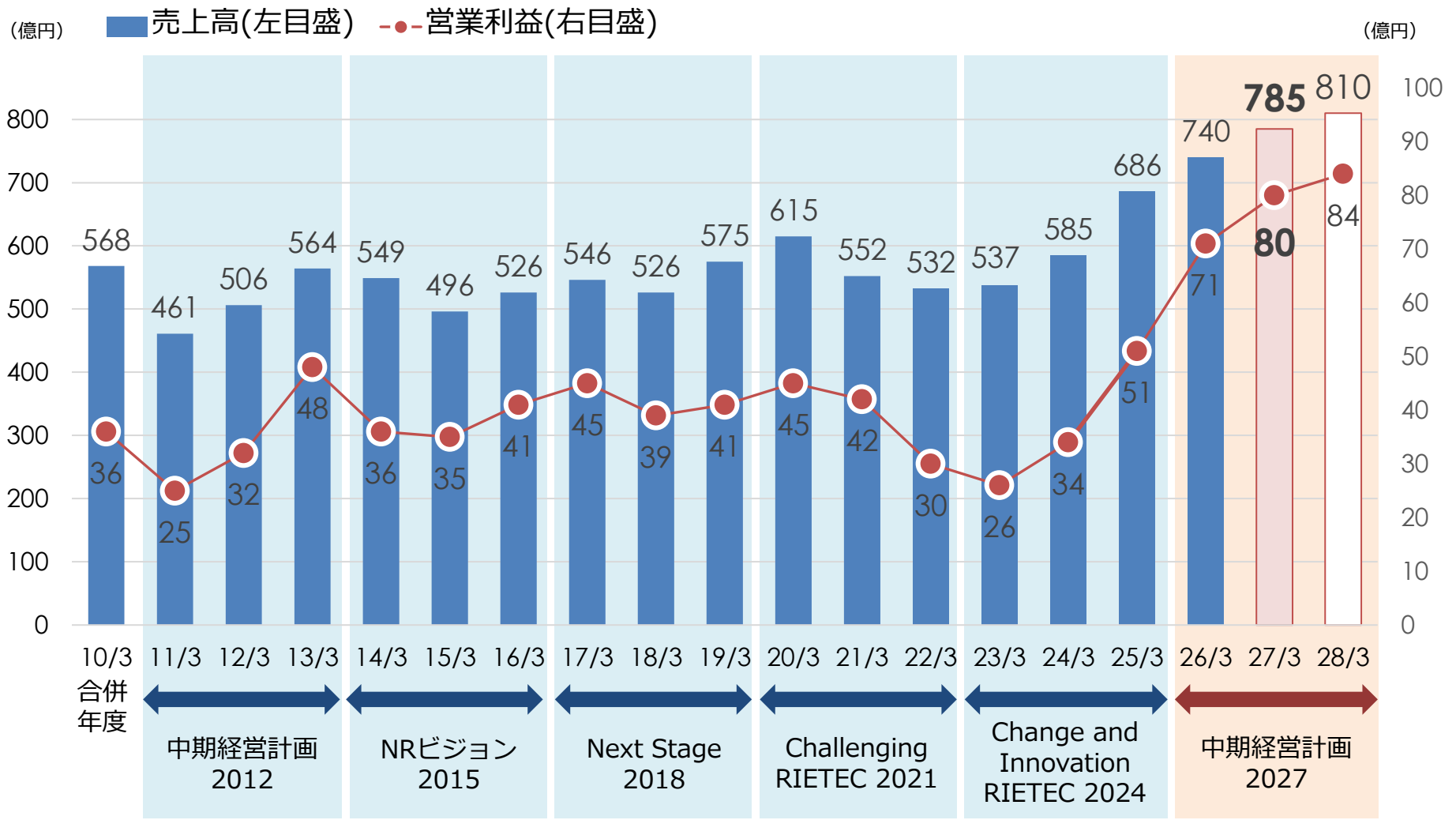
経営数値目標の見直し

2028年３月期の業績についても堅調な推移が見込まれることから、
中期経営計画最終年度である2028年３月期の連結売上高、連結営業利益
及びROEについて、経営数値目標を修正することといたしました。

	当初計画 （2025年5月12日公表）	経営目標値修正 （2026年5月12日公表）	今回の見直し （2026年11月9日公表）
連結売上高	77,500 百万円	77,500 百万円	81,000 百万円
連結営業利益	6,500 百万円	7,750 百万円	8,400 百万円
ROE	8.0 %	9.0 %	10.0 %
DOE	3.2 %	3.6 %	4.0 %

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

売上高及び営業利益の推移



Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

株主還元方針

株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置付けており、安定的な配当の継続と機動的な自己株式の取得を通じて、株主の皆様への利益還元の拡充と資本効率の向上を目指しております。株主還元については、短期的な業績に左右されない安定的、かつ累進的な配当を実現すべく、DOEを採用しております。

変更前

DOE 3.6% ＝ ROE 9% × 配当性向 40%

■ 株主還元水準の変更

株主還元指標の水準については、ROE（自己資本利益率）の目標値である９％を超える見込みとなったことから、DOEの水準についても3.6%から4.0%へ変更することといたしました。

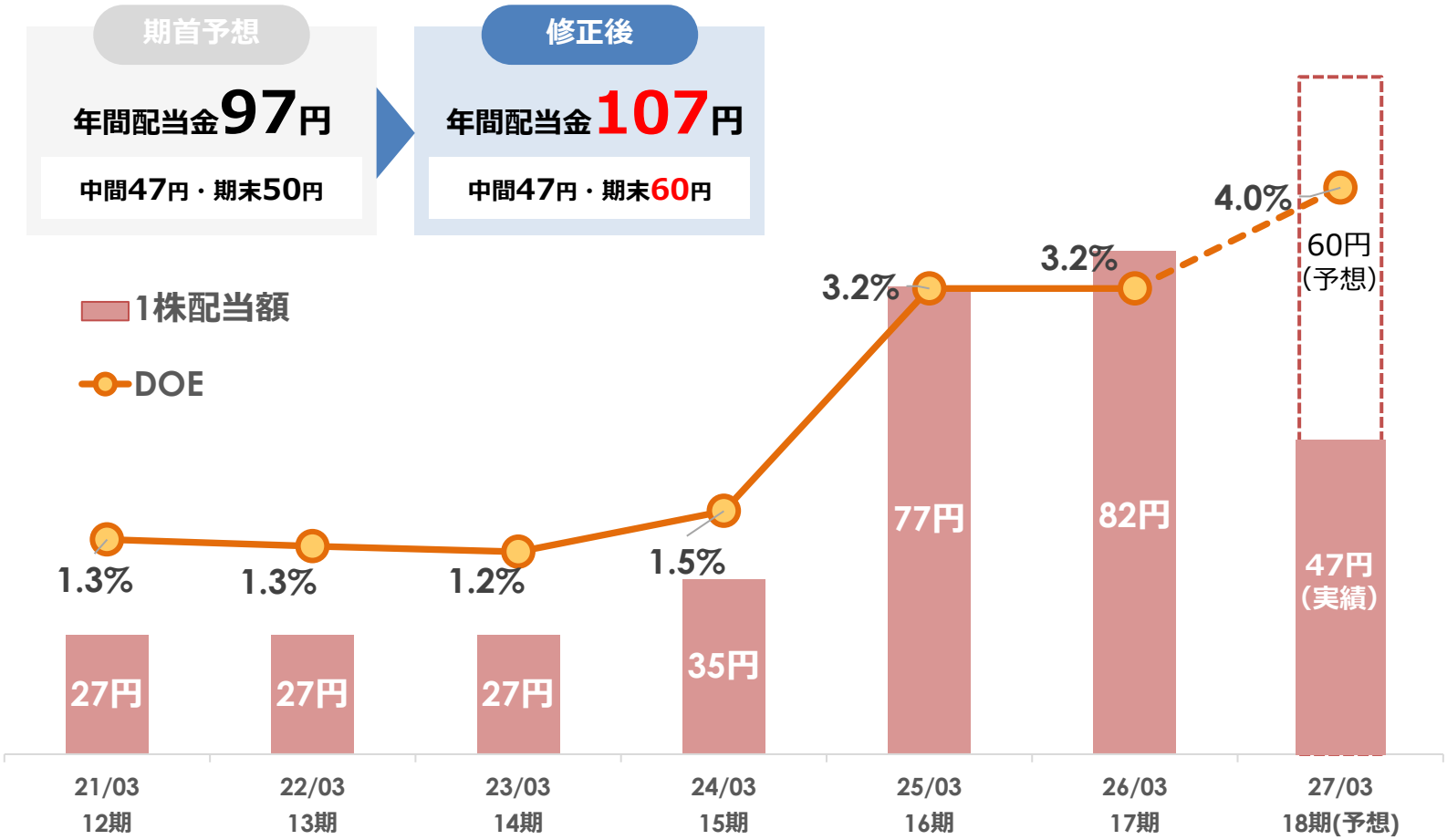
変更後

DOE 4.0% ＝ ROE 10% × 配当性向 40%

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

株主還元（配当金）

株主還元水準の変更に伴い、期末の配当予想を１株当たり10円増配して60円とすることとし、中間配当の47円と合わせ、年間配当は107円を予定しております。



Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、日本リーテックグループが現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、異なる結果となった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

（お問い合わせ先）

日本リーテック株式会社
経営企画・サステナビリティ室　広報・ＩＲ課

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町1-6
ＴＥＬ：03-6880-2714
ＦＡＸ：03-6880-2750
Ｈ　Ｐ：https://www.j-rietec.co.jp/

Copyright © NIPPON RIETEC CO.,LTD. All rights reserved.